

授業科目名	特修Ⅱ（幼児体育・スポーツ演習）		担当教員名	安井 嘉佑
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める科目区分等	大学が独自に設定する科目-保育の内容・方法に関する科目	
必修-選択/単位数	選択 / 4単位（60時間）		授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 通年（1-4期） / 年間開講数 1講座		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 ジュニアスポーツクラブ指導者としての実務実績を活かして、現場での指導経験を生かした授業を行う。
授業の概要及び全体目標	ジュニアスポーツの指導を行うための技術、知識の習得を行い健康領域から心身の健康を培う、運動の指導方法を学習し、実際に子ども達とふれあいながら子どもの行動観察を行う。また、指導案の作成、用具の取扱い、指導法、補助法の学習を行い、子どもの発育発達を理解し、健康・安全などの生活に必要な習慣や態度を運動あそびを通して理解する。			
到達目標	幼児体育、幼児水泳を通して、行動観察を行い子どもの発育発達を理解させる。また、体力向上、身体機能向上等に必要実践的運動プログラムを学習、習得し、指導者としての必要なことを見つけ、体得する。 (1)段階指導実施に伴う指導案の作成 (2)段階指導実施に伴う指導案の実施 (3)コミュニケーション能力の向上			
テキスト	使用しない			
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）			
成績評価の方法	授業参加態度等…10%、平常点…20%、理解度チェック等…20%、実技チェック…50%			
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等				
授業計画	授業の内容			到達目標番号
第1回	・オリエンテーション ・乳幼児の特性 ・講義概要と注意事項 ・ウォーミングアップ運動の重要性			(1)-①,(2)-②
第2回	・アイスブレイキング ・環境（安全と指導法） ・運動あそびの導入（段階的指導法・補助法）			(1)
第3回	・からだの発育発達について ・幼児体育（基礎運動） ウォーミングアップ（走る・跳ぶ・転がる） ・リズムと表現			(1)
第4回	・運動能力の発育発達について ・幼児体育（マット運動）（段階指導法の学習） 導入→模倣→転がる ・行動体力づくり（ジャンプ・ケンケン・スキップ） etc			(1)
第5回	・体力の測定と評価について ・幼児体育（マット運動）（プール指導法） 導入→前転 ・安全な環境→基本指導法 ・子どもとの関わり方（集団活動としての約束やルールを決めての行動）			(1),(2),(3)
第6回	幼児体育（マット運動）（補助法の学習） ・導入→前転→開脚前転 ・行動体力づくり（手押し車・アザラシ） etc ・子どもとの関わり方（感想・反省・次回の課題）			(1),(2),(3)
第7回	・コミュニケーションスキルについて ・マット運動→前転・開脚前転・ブリッジ ・とび箱運動→跳び乗り・跳び降り・導入（カエル→跳び箱またぎ） ・行動体力づくり→集団ごっこあそび（ライオンさん）			(1),(2),(3)
第8回	・よい指導者としての観点 ・幼児体育（マット運動・とび箱運動） マット運動→導入あそび・前転・ブリッジ・開脚前転 ・とび箱運動→導入あそび・踏切り・ぬき手・開脚とび ・行動体力づくり→集団あそび・ロープジャンプ			(1),(2),(3)
第9回	・指導の留意点について ・幼児体育（とび箱運動） とび箱運動→導入あそび・開脚とび・（補助法の学習） ・指導法（反復指導法） ・行動体力づくり→集団あそび・ロープづくり			(1),(2),(3)
第10回	・プログラム作成時のポイントについて ・幼児体育（とび箱運動・平均台） とび箱運動→導入あそび・開脚とび ・平均台あそび→導入あそび（色々な歩き方・障がい物を渡る） ・行動体力づくり→集団ごっこあそび（ライオンさん）			(1),(2),(3)
第11回	・安全管理上の配慮事項 ・幼児体育（段階指導法のサーキットあそび） マット運動・とび箱運動・平均台 ・行動体力づくり→集団ごっこあそび（金魚の脱走）			(1),(2),(3)
第12回	・コーチングの実践事例及びケーススタディについて ・幼児体育（身体部位とバランス運動の指導法） 手と足のバランス→転がる→跳ぶ動作 ・運動会行事のポイントと分析			(1),(2),(3)
第13回	幼児体育（年齢別体力づくりとその指導法） ・基礎運動とリズム ・指導法のポイント（環境設定と安全）（言葉掛けと見本）			(1),(2),(3)
第14回	幼児体育（各種目の完成に関わる段階指導法・補助法） ・実践指導を通して子どもの体力と運動指導のあり方を学習しまとめる。			(1),(2),(3)
第15回	幼児期の運動のねらい ・身体活動と発育発達 ・指導者の関わり方			(1),(2),(3)
第16回	授業内容の説明（年中組のグループ分け） ・ウォーミングアップとその指導法			
第17回	指導案の役割と実践指導Ⅰ ・跳び箱の導入法			(1),(2),(3)
第18回	指導案の役割と実践指導Ⅱ ・鉄棒の導入法			(1),(2),(3)
第19回	指導案の役割と実践指導Ⅲ ・ボールの導入法			(1),(2),(3)
第20回	ウォーミングアップと指導法 ・跳び箱（開脚とびのサーキット運動の方法）			(1),(2),(3)

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第21回	指示行動の指導法（言葉の重要性） ・指導案の作成（指導上の留意点と安全への配慮） ・ごっこ遊びの紹介と指導法	(1),(2),(3)
第22回	指導案の作成 ・跳び箱指導（三段～四段） ・鉄棒運動（導入方法）	(1),(2),(3)
第23回	・鉄棒運動の指導(跳び乗り、前回り、逆上がり導入法) ・ボール運動(キャッチボール～ゲームの展開)	(1),(2),(3)
第24回	マット運動・（後転、開脚前転、開脚後転）補助法 ボール運動・（移動遊び）	(1),(2),(3)
第25回	・ボールゲーム指導の展開 ・縄跳び導入（短縄、大縄）	(1),(2),(3)
第26回	年少、年中の運動遊び指導Ⅰ ・リズムダンス	(1),(2),(3)
第27回	年少、年中の運動遊び指導Ⅱ ・マット運動前転指導	(1),(2),(3)
第28回	年少、年中の運動遊び指導Ⅲ ・鉄棒前回り ・ボール運動	(1),(2),(3)
第29回	サーキット運動の目的と方法 ・総合体力づくり（サーキット運動の導入と展開） ・走・跳・投・平衡・腕力・脚力など	(1),(2),(3)
第30回	まとめ ・運動指導のねらいと安全対策 ・運動評価の方法	